

大阪労連女性部ニュース NO8

2011年3月1日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-1 国会会館 大阪労連女性部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

大阪労連第35回女性部委員会開催！ ～組合があったからこそ前進～

女性部は、2011年春闘方針を決めるため、2月19日（土）第35回女性部委員会を開催しました。いっせい地方選挙の中の春闘なので、明るい会政策宣伝委員長でもある常任委員の藪田さんを講師に30分のミニ学習を行いました。

「橋下の高支持率は、大阪府の役割が府民に見えにくい中で、毎日メディアで発信している姿が頑張っているように見える。その中で、昨年末から支持率が微減しているのは、読売新聞12月5日の世論調査（「橋下知事になってくらしはよくなりましたか」という質問に「よくなった」はゼロ）に象徴されるように、府民のくらしがまったく改善されていないから。大阪府民が、財政が大変でも大阪府にやってほしいことは、医療・福祉だと答えている。橋下知事がやってきたこと、やろうとしていることは、その願いと真っ向から対立している。」と具体的な例をあげて説明。国保の府内統一化、府営住宅半減、救命救急センターへの補助金・運営費の削減、廃止については、各課題で共同の運動がはじまっていることも紹介されました。

伊東事務局長から「2011年春闘方針（案）」の提起。今年の春闘は、TPPの問題で共同が広がり、3・17総行動も食農府民会議と共同で御堂筋パレードが企画されているので、女性部も、要請行動と並行して、パレードへの参加を提起しました。

また、行政への要望書、マスコミ、女性団体、他労組への申し入れについても情勢にあった内容に変えて提案しました。また、役員交代で退任される藪田ゆきえ常任委員と新に常任委員になられた鈴木まさよさんの両名から挨拶がありました。

発言から

① 大私教

私立高校への補助金削減について、大幅削減とともに配分基準を変えることが問題。配分の仕方が、1人につき27万5000円×人数分になるので、200人や300人程度の小さい学校は大幅に削減される。94校中52校が削減になる。8000万円削減される学校も。箕面市の学級定員25人くらいの私立学校は、教室や学校の広さから定員を増やせない。許せないのは、東大・京大への進学や甲子園出場などの私学に、削減した補助金をつぎ込むこと。

授業料無償は結構だが、その財源を私学の経常費助成や職員の賃金削減に求めている。大阪府への要望書に、「私立学校運営補助金の配分基準を変えるな」を入れてほしい。「比例定数削減」問題をマスコミ要請に入れてほしい。いろんな問題が国会で論議されるが、民意を反映しない制度になっては大変。民主勢



力を伸ばすことが私たちの春闘。

② 大教組

1月19日に昨年末からの積み残しである賃金カット問題で統一行動を行った。今年の3月までの9.5%のカットを来年度も続けると言っていたが、9%のカットに縮小。ボーナス4%カットもなくなった。不満は残るがみんなでたたかった成果だと思う。

今後の課題は、評価育成システムの撤回。SS、S、A、B、Cに分けて評価。賃金はCからすいあげ、他にばら撒く。そういう評価のされ方は少しもうれしくない。

今卒業式の時期だが、私の学校は対面式フロー方式でやっているが、「儀式としてふさわしくない。壇上にせよ。」といわれる。校長は「今年で最後」と。「君が代」だけでなく「大阪市歌を歌え」という攻撃も。こんな押しつけをはねかえしたい。



③ 府職労

闘いの中で給与のカットを少し押し戻せたのは組合でがんばったから。組織拡大への確信にもなった。児童虐待がすすむ中で、一時保護所が一カ所しかないことや、職員が少ないことを言い続け、やっと一時保護所の増設と人員増を実現できた。自治体労働者として住民の幸せを願って運動した成果。要望書について、「女性の昇任・昇格率を公表せよ。」については、すでに公表している。賃金格差を公表しないので、「男女の賃金格差を公表せよ」に変えてほしい。

④ 堺労連

12月に堺労連女性部で8回目の争議支援のコンサート。こつこつ続けて300人を超え、ブンヤ・ハンナさんのゴスペルで、みんなでうたった「We shall overcome」で自分も励まされた。裁判していくことは勇気があるが、そんな人たちを知ってもらおうと企画した。集会では、近代泉州高校（元飛翔館高校）の女性の先生が「職場に戻りたいと運動しているが、橋下のせいで、小さい学校である近代泉州高校はなくなってしまうのではないかと不安。」と訴えていた。また、ダイキンはこの暑さでクーラーが売れ、儲かってしかたないのに、有期雇用の200人の首を切った。次の雇用を期待していたが解雇され、4人で組合を作ったばかり。この人たちも、「このコンサートに感動した」とウルウルして訴えられた。ダイキンは絶対に許せない、と地域でも支援が広がっている。この集会で16万円のカンパが集まり、労働者の連帯を感じた。

まったく労働組合につながっていない若い人たちをつなげたいと、学習と交流の場を持つ予定。

⑤ 年金者組合

どこの市でアンケートとっても「国保料下げてほしい」が大きな要求。2月17日中ノ島公会堂での近畿集会に1200人があつまった。そこでの中之島宣言を聞いてほしい。

「生まれた瞬間から寄る辺のない赤ちゃんがいる。児童虐待。奪われているいたいけないのち。消えた355人の子ども。3万人を超える自殺者。500人を超える熱中症死。高齢者の所在不明。引き取り手のない遺骨。ずたずたに引き裂かれた絆。ダブルワーク、トリプルワーク。働きまくってもワーキングプア。恐竜資本主義がのたうちまわりながらも、なお肥え太っていく。姥捨て山医療の介護保険の年金切り下げのとどまることなく 襲いかかる悪政押し返そう 怒りを力に 一步そして次の一步へと」

現職も給料下げられているが、これが年金にもひびく。しかも今度は年金を0.4%下げると言っている。個人請願署名に協力を。

⑥ 自治労連

去年権利実態アンケートを実施したが、生休取得率は下がりっぱなし。取得者は11%で、「とってない」が46%。理由は「仕事が忙しい」。年休取得ゼロの人もある。そんななかで妊娠・出産異常が目立っている。妊娠者の1割が「異常がある」と回答。出産は3割が異常出産。非正規も前はアルバイトパートが多かったが、今回は嘱託職員が増えている。正規同様の仕事をしていながら、働く権利が保障されていない。

⑦ 全国一般

この春闘で2月9日、中小企業訪問をやっている。昨年もやって関係が作れてきている。もう1件、アンフィニ争議の件。2月10日全労連中央行動のあと71人がアンフィニに行ってくれてうれしかった。当事者の池田さんは朝一番に出勤し、工場のリーダーとして活動してきたのに解雇。職場復帰を求めて、ダブル、トリプルワークして争議。物品販売など支援をよろしく。

⑧ 全印総連

どこの会社もきびしくなっている。女性社員が増えていないので活動も停滞気味。次世代育成の点では権利は昔からとれている。特徴的なことでは高年齢雇用継続で働く女性が増えてきている。非正規の問題では、人件費を抑えることが派遣を雇う目的なので、派遣社員がなかなか正社員になれない。しかし長く働いている人を正社員にすることは絶対していかないと。

⑨ 生協労連

昨年末1年ぶりに総会。女性部が何かを理解してもらうために、活動の紹介や学習会への参加を呼びかけていきたい。不況のためか、まったく新人がはいってこないで新人歓迎会ができないという生協も。女性が増えそうにないので、今いる人たちだけでも相談しあえるようになりたい。

⑩ 医労連

看護師増員要求の署名（大幅増員と夜勤改善）への協力を。働き続けられるためにもぜひ看護師を増やしたい。

宣伝行動で「子ども医療無料化と年金問題は府民の関心大！」



女性部委員会後に天満駅で宣伝行動を行いました。たった30分の宣伝にもかかわらず38筆の署名が集まりました。参加された人たちの感想では「若いお父さんお母さんは子ども医療費無料化で共感！すぐ署名してくれた」「タペストリーは目を引く、足を止めて聞いてくれたりビラが欲しいと取りに来てくれたりとすごく反応がいい」「橋下への関心の高さに驚いた」「橋下知事の府政がおかしいと感じている人がたくさんいるんだなあと改めて思った」など宣伝をすれば必ず反応があることを実感しながらの宣伝でした。

3・17菜の花行動

を成功させよう！

みんな誘って参加しよう！

